

タイトル: ATリッチ領域の増幅比較

カテゴリ: PCR

キーワード: PCR, AT rich

データソース: タカラバイオ株式会社

方法:

局所的にATリッチな領域が存在し、全体で見てもAT含有率が60%を超えるターゲットの増幅を、各種PCR酵素を用いて比較した。

結果:

AT含量が高い配列の増幅にはTaKaRa Ex Taq[®] (製品コード [RR001A](#))、TaKaRa LA Taq[®] (製品コード [RR002A](#))、PrimeSTAR[®] GXL (製品コード [R050A](#)) が有効でした。いずれも添付のバッファーを用いた標準的な反応で良好な増幅を示しました。特に、正確性が要求される増幅においてはPrimeSTAR[®] GXLをお勧めします。



鋳型 : ヒトゲノムDNA 100 ng/50 μ l 反応系

レーン / 増幅鎖長 (AT含量)

- 1 : 538 bp (65.0%)
- 2 : 965 bp (64.6%)
- 3 : 1976 bp (61.2%)
- 4 : 2025 bp (63.9%)
- 5 : 3035 bp (62.4%)
- 6 : 4014 bp (60.1%)
- 7 : 2894 bp (62.7%)
- M : pHY Marker

備考: